

Press Information

第66回自動車技術会賞 受賞者決定

公益社団法人 自動車技術会

公益社団法人 自動車技術会(会長 加藤 光久)は、5月25日(水)、第66回自動車技術会賞の受賞者を決定しました。

自動車技術会賞は、1951年に自動車工学および自動車技術の向上発展を奨励することを目的として設けられ、自動車技術における多大な貢献・功績に対し授賞しています。

第66回の受賞者は、次の通りです。

【技術貢献賞】 1件

上地 幸一	株式会社本田技術研究所	自動車の安全性能向上に関わる技術の進歩発展への貢献
-------	-------------	---------------------------

【浅原賞学術奨励賞】 3件

長島 真也	トヨタ自動車株式会社	燃料電池電極触媒の劣化機構の液中電圧印加その場 TEM 観察 (第1報)
中川 喜洋	株式会社本田技術研究所	二輪車のブレーキ鳴き解析におけるディスク残留応力に関する研究
矢崎 学	株式会社本田技術研究所	Vibration Reduction in Motors for the SPORT HYBRID SH-AWD

【浅原賞技術功労賞】 2件

農沢 隆秀	マツダ株式会社	自動車の空力技術および感性工学に基づくインテリアの研究開発に関する永年の功績
園田 幸弘	トヨタモーターヨーロッパ NV/SA	ガソリンエンジン排気浄化及び制御技術の開発への貢献

【論文賞】 9件

嵯 明 他2名	トヨタ自動車東日本株式会社	異なる材料強度の稜線を有する箱形断面の圧縮曲げ強度
木村 賢治 他3名	トヨタ自動車株式会社	重量表示像が前方対象物の変化感受性に及ぼす影響調査
稲垣 和久 他3名	株式会社豊田中央研究所	ディーゼル燃焼シミュレーション UniDES の精度向上 第1報および第2報
上田 秀樹 他2名	新日鐵住金株式会社	溶接シミュレーションを用いた異種異厚板組の破断予測技術の開発
小澤 恒 他1名	株式会社いすゞ中央研究所	ディーゼルエンジン音の快音化を目的とした燃焼室共鳴現象の解析
久保田 正人	トヨタ自動車株式会社	非正常 Adjoint 法によるCFD逆解析技術の開発とエンジン筒内流れへの適用
岡田 吉弘 他4名	トヨタ自動車株式会社	デポジットによる低速ブレイグ発生メカニズムに関する研究
伊藤 大輔 他3名	名古屋大学	Aピラー衝突における自転車ヘルメットによる頭部保護
江上 雅裕 他1名	株式会社本田技術研究所	ノイズ低減に空間平均を用いた FFT 法による過渡状態の燃料電池 Nyquist plot

【技術開発賞】 8件

藤田 昌弘、他1名	スズキ株式会社	アルミニウム部品への高耐食性表面処理技術の開発
山崎 真嗣、他1名	株式会社小糸製作所	加速度センサを使ったオートレベリングシステムの開発
工藤 雅仁、他4名	トヨタ自動車株式会社	直列4気筒 1.2L 直噴過給ガソリンエンジン
木崎 幹士、他4名	トヨタ自動車株式会社	世界で初めて燃料電池車の一般販売を可能とした燃料電池システムの開発
土井 淳一、他4名	マツダ株式会社	安心安全と低燃費を両立する新型四輪駆動システムの開発
本田 正徳、他4名	マツダ株式会社	高い衝突安全と軽量化を実現した、最適化手法による超軽量・高強度フレーム断面技術
中野 勝昭、他3名	市光工業株式会社	車両用灯具への LED 光源普及に大きく貢献する、標準 LED 光源ユニット
原 崇志、他4名	アイシン精機株式会社	インジウム蒸着による全面めっき調スマートハンドルの開発

詳細につきましては次をご覧ください。⇒ <http://www.jsae.or.jp/09award/jsaeawa.php>

Press Information

【技術開発賞の授賞について】

最新技術である燃料電池車のFCシステムが授賞対象となる一方で、従来のガソリンエンジン・四輪駆動システムでは、「低燃費化」と「運転の楽しさ」を両立させた技術が授賞対象となった。

またヘッドランプ光軸調整機構や車両用灯具LEDといった高コストが課題となっていた部品に関しては、低コスト化が評価された。同様に、アルミニウム部品の加工技術についても低コスト化が評価されると同時に耐久性向上も評価の対象となった。

安全の分野では、今後の車体技術の基盤となる素材加工技術が注目され授賞対象となり、その他、車内インテリアのデザイン向上に貢献した技術も授賞対象となった。

【自動車技術会賞の種類と概要】

技術貢献賞	第3代会長 楠木直道氏、第6代会長 荒牧寅雄氏、第9代会長 齋藤尚一氏、第10代会長 中川良一氏、伊藤正男氏の各氏から提供された基金をもととする賞。 ■技術貢献賞:自動車に関する技術の進歩発達に貢献しその功績が顕著な個人に贈る賞。
浅原賞 学術奨励賞 浅原賞 技術功労賞	初代会長 浅原源七氏の提案により昭和26年に創設された賞。 ■学術奨励賞:満37才未満であって、過去1年間に自動車工学又は自動車技術に寄与する論文等を発表した将来性ある新進の個人に贈る賞。 ■技術功労賞:永年、自動車技術の進歩向上に努力した功労が大きく、かつ、その業績が世にあまり知られていない個人に贈る賞。
論文賞 技術開発賞	第3代会長 楠木直道氏、第6代会長 荒牧寅雄氏、第9代会長 齋藤尚一氏、第10代会長 中川良一氏、伊藤正男氏の各氏から提供された基金をもととする賞。 ■論文賞:過去3年間に自動車工学又は自動車技術の発展に寄与する論文を発表した個人および共著者に贈る賞。 ■技術開発賞:過去3年間に自動車技術の発展に役立つ新製品又は新技術を開発した個人および共同開発者に贈る賞。

授賞式は、「2016年自動車技術会春季大会」会期中の5月26日(木)13:45~14:45に、パシフィコ横浜 会議センター3階301+302号室で行います。

授賞式後、展示ホール 2Fコンコースにて、15:30~16:00に授賞者が直接来場者からの質問に答える「受賞者Q&Aタイム」を実施します。

以上